

令和8年度 第1回 三ヶ日中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年4月22日(水) 14時30分から16時30分
- 2 開催場所 三ヶ日中学校 会議室
- 3 出席委員 高橋一浩 山本智之 渥美浩明 袴田昌弘 長坂恭輔 奥川 了  
木本貴子 鈴木あゆみ 伊藤美季
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 堀 好志(三ヶ日支所コミュニティ担当)
- 6 学校コーディネーター 寺田 祐真
- 7 学校 金子直由(校長) 宮津宗之(教頭) 坂田真之介(教務主任)
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 教頭 宮津宗之
- 10 会長の選出および副会長の指名

司会から、会長の選出について意見を求めたところ、山本委員から高橋委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された高橋委員から、袴田委員を副会長に指名する旨の報告があった。

11 議長の選出

司会から、議長の選出について意見を求めたところ、山本委員から高橋委員を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- (1)三ヶ日中学校運営基本方針について
- (2)学校いじめ基本方針について
- (3)学校評価アンケートの項目検討
- (4)学校運営協議会における今年度の目標
- (5)夢育やらまいか事業 CS 加算分に対する意見書

13 会議記録

司会から、委員総数9名のうち9名の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1)三ヶ日中学校運営基本方針について

議長の指示により、金子校長から三ヶ日中学校のランドデザイン等に基づいての学校運営基本方針の説明があり、委員へ意見を求めたところ、以下のような発言があった。最後に、出席者全員から承認を得た。

・学校評価で出た課題は、このランドデザインや学校経営構想にどのように生かされているのか？(山

本委員)

→昨年度の課題として、「夢や希望を持つこと」「挨拶」「家庭学習」が低い数値が出ている。特に、家庭学習のことに限っては、グランドデザイン上に示すことはできていないが、その大切さを子どもたちに様々な場面で伝えていくことを意識して教育活動にあたりたいと考えている。(校長)

・せっかく多くの方からいただいた意見なので、職員全体で共有していただき、課題解決や成長に繋げるシステムや先生方の意識共有をぜひお願いしたい。(山本委員)

・学校で考えていただいたこのグランドデザインにある理想の姿に近づけるよう頑張ってください。(高橋委員)

## (2)学校いじめ基本方針について

議長の指示により、坂田教務主任から学校いじめ基本方針についての説明があり、主には、いじめは「どこにでも起こりうることであり、絶対に許されない」という共通認識のもと、組織的な未然防止と早期発見に努めるという内容です。これに対し意見を求めたところ、以下の発言があった。

・子供も客観的に見ていて、家でも学校の様子を報告してくれる。その話から学校側も年間を通して教育してくださっているのがわかる。(鈴木委員)

・親としても、何がいじめなのか判断が難しいと感じることがあります。子供が言わないと分からないことが多いので、周りが見聞きすることが大事である。(伊藤委員)

・今のいじめは本人が嫌だと思えば成立します。先生方も聞き取りを頑張ってくださいますが、中学校のトラブルの7~8割はスマホ関連だと思います。保護者の方の意識も大切になってくるので、保護者向けの講座なども行えば効果があるのではないかと。(山本委員)

・一部のルール違反により、全体が窮屈になることは悲しいことである。昔は「罰」を与えて反省を促していたが、今の時代は「罰」は難しいが、何らかの「けじめ」のようなものが必要だとは感じる。(奥川委員)

→情報モラル講座や道徳の授業など、学校はあらゆる場面を通じて、指導をしていく。保護者にも協力を仰ぎながら、いじめの未然防止に注力する。三ヶ日町全体の「あたたかさ」をこれからも大切にできるよう、また、皆でルールを守って気持ちよく生活できるよう、引き続きいじめ防止に努めていく。(教頭)

## (3)学校評価アンケートの項目検討

議長の指示により、坂田教務主任から学校評価の項目についての説明があり、委員に意見を求めたところ、以下の発言があった。

・過去のデータと比較して改善点を確認するため、基本的にはアンケートの項目を大きく変更せず継続するほうが良い。(複数の委員より)

・学校の基本方針が大きく変わる際には見直しの必要がある。家庭学習の項目は、数値は高くはないが、少しずつではあるが上昇傾向にある。(山本委員)

・データを見れば、三ヶ日中学校の様子が見えてくる。家庭学習の面は、しばらく前から低い数値が続いている。しかし、行事や部活動には本当に熱く取り組む生徒が多い。(袴田委員)

#### (4) 学校運営協議会における今年度の目標

議長の指示により、宮津教頭から学校運営協議会の目標についての説明があり、委員に意見を求めたところ、以下の発言があった。

・今年度の目標は、概ねこれでよいと思います。(渥美委員)

・昨年度の反省に防災教育の文言がある。今年度の目標との関連を教えてほしい。(木本委員)

→「地域を好きになる中学生の育成」が、この協議会の柱の一つである。地域に高等学校がないため、中学生は災害時にはマンパワーとして活躍が期待されている。そこで、これまで1年生は校外学習を実施していたが、今年度は「防災体験学習」の実施に切り替え、災害時に役に立つ炊事体験や、DIG 訓練(災害想像力ゲーム)を計画している。(教頭)

#### (5) 夢育やらまいか事業 CS 加算分に対する意見書

議長の指示により、夢育やらまいか事業 CS 加算分に対する意見書についての説明があった。浜松市から、この学校運営協議会の目標や活動を支える予算(年間6万円)が組まれており、それをどういった形で使っていくかという意見書の案に対する意見を求めたところ、以下の発言があった。

<総合的な学習の時間を軸として見方・考え方を働かせた「深いまなび」の実現>に対して

・最近の総合的な学習がどう展開されているかを教えてほしい。(山本委員)

・地域の人の中で揉まれることも大切な体験となる。時が経ち、成果が出ることも多々ある。地域の方々が絡める活動になっていくことが望ましいのではないか?(奥川委員)

・調べ学習も大切ではあるが、やはり三ヶ日という地を活用して、たくさんの体験を子どもたちに積み重ねていくことが大切なのは。(袴田委員)

→三ヶ日には、学校の活動に協力的な方が多い。また、学校のことを気にしてくれている方も多い。その中で、学びを充実させるためには、まず学習の主体である生徒が目的意識と目標を定める力を身に付ける必要があり、これは学校が担う部分である。この土台を基に、生徒が自らの課題に主体的に取り組もうとすることを大切にしたい。その上で、地域の方の力を借りながら、創造的・発展的な課題解決へとつなげていきたい。(教頭)

#### 14 その他の報告事項等

司会の教頭から、今年度の学校運営協議会の予定の確認があった。また、次回の会議は、令和8年7月8日(水)14時30分より三ヶ日中学校会議室で開催する旨の報告があった。